

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ROSELLE 4TH KIDSClub		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 18日		令和7年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 18日		令和7年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員が笑顔で療育に当たり、一人一人が意識を高め質の向上に向け学び業務にあたる中、子ども達は身体を十分に動かし健康維持を図る。異年齢活動の取り組みもある。	一人一人に責任が持てるよう、役割分担を行い、一人で抱え込む事にならないように話をする機会を多く持ち、業務に関係の無い話をする機会も多く作っている。	役割分担の業務に自信がついた時には役割を交代しながら様々な業務内容が身につくような取り組み方も考えていきたい。
2	チームワークを大切にでき、一人一人の考えを汲み取りながら業務にあたる。	どの職員も子どもの為ということが念頭にあり批判せず改善という形で、より良い療育に向け話し合う事が出来る。	時間に余裕をもって業務に当たれるよう工夫しながら話す時間を大切にしていきたい。
3	子育ての悩みだけでなく家庭やご兄弟の事も気軽に相談出来る環境がつけられている。職員が笑顔と元気を届けることが出来る。	保護者からの相談、悩み、を共に考えご家族支援に力を入れている。時には苦情を頂いた時にも事業所の質の向上に向け有難くお言葉を頂戴し、支援に繋げることが出来る。	一定の職員だけでなくどの職員に対してもお言葉がいただけるように関係性を深めていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間に余裕がなく慌ただしい時間が出来てしまう	放課後等デイサービスの利用児と送迎が重なり、利用者も増えていることか要因に思う	保護者や保育園等に相談しながら余裕を持つように送迎時間を調整していきたい。
2	保育経験者が多い事もあり、保育士時代は養護が優先だったが療育との違いの認識不足となってしまう所がある。	様々な経験と様々な職員の思いを組み込みながら子どもの自立に向けた取り組みを考えられるようになりたい。	保育との違いも考える機会を取り入れながら研修等を含め意識を高めれる機会を大切にしていきたい。
3	こどもプログラムの活動中、子どもの待つ時間が多くなってしまっている。	曜日により利用人数が多いため、活動時に待つ時間が長くなる。	利用人数が多い時には2部制も取り入れ、子どもたちの待つ時間が最小限になる取り組み方を考えていきたい

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ROSELLE4THKIDSClub		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 15日		令和7年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 15日		令和7年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員一人一人が笑顔で療育に当たり、知識を高められよう学び、子どもたちの特性を考慮したプログラム作りが行える。	一人一人に責任が持てるよう、役割分担を行い、一人で抱え込む事にならないように話をする機会を多く持ち、コミュニケーションを持つ機会も多く作っている。	役割分担の業務に自信がついた時には役割を交代しながら様々な業務内容が身につけられるよう取り組み方も考えていきたい。
2	一人一人の考えや思いを職員、子ども共に表現出来、チームワークの良さを感じる。異年齢の活動も多く、お兄さん、お姉さんプログラムが自然と出来ている。	職員、子ども共それぞれの意見を批判せず取り組み、良い方法に向け一緒に話し合いながら考える時間を作れる。	一定の職員、子どもだけの意見にならず、全体で話す時間を作り問題解決等にも工夫していきたい。
3	一人一人の職員が経験を活かし保護者の方が相談等、話しやすい雰囲気をつくれ、子ども達も笑顔で活動できる環境設定を行える。	様々な職員が子育て経験や前職の経験を活かしどんな些細な事でも話す時間を大切にし、信頼関係を築こうとしている。	送迎時となると時間も短い為、保護者会の開催を行い、相談できたりゆっくり話す機会を設けたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間に余裕がなく慌ただしい時間が出来てしまう	児童発達支援の利用児と送迎が重なり、利用者も増えていることが慌ただしくなる要因に思う。	お迎え時間に合わせ活動内容に工夫をこらし、落ちついて取り組めるようゆとりのある送迎の組み立てを行いたい。
2	療育についての認識力が弱く認識の違いがある。	元保育士経験者が多く、自立に向けた療育や支援内容について認識の違いがある。	子どもの自立に向けた取り組みを考えられるように研修を行い様々な職員の良さを支援に繋がるようにしていきたい。
3	公園活動時、移動に時間がかかり活動時間が短くなる。	事業所近辺に安全な公園が少ない。	移動時間の短縮を考慮し、活動内容や活動場所も考え取り組んでいきたい。6限授業の日は事業所敷地内を活用し戸外活動を取り入れる。